

様式 4

| <p style="text-align: center;"><b>令和 3 年度第 2 回</b></p> <p style="text-align: center;"><b>富士見市こども家庭福祉審議会</b></p> <p style="text-align: center;"><b>議事録</b></p> |   |      |       |              |      |       |
|---|---|------|-------|--------------|------|-------|
| <b>日 時</b>  | 令和 3 年 1 0 月 1 4 日 (木)  |      | 開会    | 午後 2 時 0 0 分 |      |       |
|   |   |      | 閉会    | 午後 3 時 2 0 分 |      |       |
| <b>場 所</b>  | 中央図書館 2 階 視聴覚ホール  |      |       |              |      |       |
| <b>出 席 者</b>  | 委<br>員  | 矢島委員 | 宮委員   | 丸山委員         | 柳原委員 | 松本委員  |
|   |   | ○    | ○     | 欠            | 欠    | ○     |
|   |   | 戸田委員 | 清水委員  | 石川京委員        | 佐野委員 | 石川泉委員 |
|   |   | ○    | ○     | ○            | 欠    | ○     |
|   |   | 横田委員 | 四ノ宮委員 | 水野委員         | 関委員  | 安達委員  |
|   |   | ○    | 欠     | ○            | ○    | ○     |
|   |   | 小林委員 |       |              |      |       |
|   | ○   |      |       |              |      |       |
| 事 務 局   | 子ども未来部長、子育て支援課長、子育て支援課副課長、<br>子育て支援課主任、保育課長、保育課副課長、子ども未来<br>応援センター所長、子ども未来応援センター副所長、<br>みずほ学園長  |      |       |              |      |       |
| <b>公 開 ・<br/>非 公 開</b>  | 公開（傍聴者なし）   |      |       |              |      |       |
| <b>議 題</b>  | <p>1 開 会    子育て支援課長</p> <p>2 あいさつ    子ども未来部長</p> <p>3 議 題</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 夢つなぐ富士見プロジェクト+（プラス）<br/>～富士見市子どもの貧困対策整備計画～ 令和 2 年度進捗状況について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画の令和 2 年度進捗<br/>状況について</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) その他</p> <p style="padding-left: 40px;">①保育所等利用調整点数表の一部変更について</p> <p style="padding-left: 40px;">②南畑第 2 放課後児童クラブの施設整備について</p> <p>4 事務連絡</p> <p>5 閉 会</p> |      |       |              |      |       |

## 議 事 内 容

1 開 会 子育て支援課長

2 あいさつ 子ども未来部長  
会長

3 議 題

(1) 夢つなぐ富士見プロジェクト+ (プラス)

～富士見市子どもの貧困対策整備計画～令和2年度進捗状況について  
～事務局より説明～

【会 長】ご意見等ありましたら、お願いします。

【委 員】A評価が非常に多く、コロナ禍の影響がやはり大きかったのかなという印象を受けました。「コロナの影響で会議の開催ができなかったため、書面にて進捗状況の共有を図った」ということは、A評価になると思いますが、細かい意見聴取やすり合わせ等、難しかったのではないかと想定されます。このA評価で満足するのではなく、本当にこれで良かったのか、もっと意見があったのではないかとということも、引き続き検討いただければと思います。

No.19「家庭学習応援事業」は、どのように周知しているのでしょうか。小学5年生と中学3年生を対象としていますが、対象を広げることは検討しているのでしょうか。「新型コロナウイルス感染症の状況により映像授業に切り替える可能性あり」とのこと、映像授業に切り替えると、もっと広く展開が可能になるので、是非検討をお願いします。

【事務局】コロナ禍で開催できなかった会議等は、代替措置として書面開催とし、委員には内容を詳細に説明しましたが、A評価として良かったのか、正しいものなのかというところは、再度整理させていただきます。

No.19「家庭学習応援事業」については、各学校を經由して、ご案内は教育委員会で行っている事業です。小学校5年生は、この頃から学力の低下がみられる傾向があり、中学3年生は、受験があるというところで、対象を絞って実施してきました。令和3年度は、小学校について5年生に加えて6年生も開設していく予定であることや、コロナの状況によってはオンラインでの実施を考えているとのことを、教育委員会から伺っています。

【会 長】コロナ禍でいろいろな事業が、中止や延期になり、十分な対応ができなかったのではないかと思います。緊急事態宣言が解除されたことによって、新たに新しい方向で考えていくことは可能かなと思います。

「新型コロナウイルス感染症の状況により、映像授業に切り替える可能性あり」ということですが、映像授業をどのように対象者に対して確保していくのでしょうか。

【事務局】そこまでの実態の把握はできていませんが、オンライン環境が整っている受講者については、希望により映像授業が可能であると伺っています。

【委 員】市内の小中学校はタブレットが配布され、オンライン状況は、各家庭でも整備されてきていますが、対面という授業の必要性もあり、各小学校は、半分半分で実施していると伺っています。

【会 長】緊急事態宣言が解除されたが、リバウンドした場合、委員会等は再びオンライン形式に変わっていくと思います。この落ち着いた時期に、実施方法を検討していただき、関係部署との連携を取っていただければと思います。

他に、ご意見等はありませんか。

【委員】No.13「生活支援物資供給センターの設置」、No.14「子どもの居場所となる場所の確保・支援」は、子ども食堂等への支援を行っているものですが、食材の量的・質的なものは、コロナ前と後で違いはあるのでしょうか。

【事務局】昨年度はコロナの影響で、年度当初に学校が休校になり、給食の食材をいただいたことや、いろいろな施設などで食料支援のイベントができなかったということがあり、県の子ども食堂ネットワークから、各地区に多くの食材が分配されて、本市では子ども食堂にお渡ししました。その他に色々な食材をご寄附したいというものが子ども未来応援センターに集まってきており、随時お配りしている状況です。

昨年はコロナ禍で、子ども食堂で会食ができませんでしたが、代わってお弁当を配布し、一部の団体はドライブスルー型で実施するなど、工夫をしながらお困りの家庭に届けていただきました。

【委員】一般の人は、子ども食堂で使ってもらいたい材料などをどこに寄附というか、持っていけばいいのか、わからないと思います。実際にそれをどこで有効に使ってもらえるのか、どこに持っていけばいいのかというのは、市のPR不足ではないかと思います。

【事務局】周知は漏れのないよう、進めていきたいと思っています。生鮮食品、生野菜などについては、子ども食堂さんの開催時期と、子ども未来応援センターが受け入れる時期との差があった時に、腐ったり保存ができなかったりという状況がありますので、保存がきく食材を中心に事前にお預かりさせていただいて、子ども食堂団体に分配させていただいています。

【会長】私もNPOで子ども食堂をしています。寄附は、お米や冷凍食品などたくさんあります。私たちは子ども食堂以外に月1回2か所でフードパントリーを実施していて、毎回喜んでもらっています。

【事務局】子ども食堂は、今年度2か所増えて、12か所になりました。

【会長】それぞれの活動は、やり方や規模も違うので一概に言えませんが、各地域で子ども食堂に直接寄附をしてくださる方、それから団体を通してくださる方がいます。関心を持ってもらえた方が、どのように寄附を届けたらいいのか、その辺がちょっと見えないうところがありますので、今後、周知できる方法を考えていただくと、各子ども食堂も助かるのかなと思います。

この貧困対策整備計画は、今年度で終了するというところで、次期計画について、説明をお願いします。

【事務局】今年度でこの貧困対策整備計画の最終年度になりますが、子ども・子育て支援事業計画の更新する時期に併せて統合する予定です。新たな課題については、それまでに整理して組み込んでいきたいと思っています。

【会長】今回A評価、B評価がありますが、結果についてよく分析していただいて、それに基づいた事業計画を策定していただければと思います。事務局の説明について、ご意見ありますでしょうか。ないようであれば、次の議題に進みます。

## (2) 第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画の令和2年度進捗状況について

～事務局より説明～

【会長】コロナ禍で、本来対面で実施しているものが実施できないことや、訪問しようとしても拒否されてしまうこともあったと思います。第6波等が起きた場合に、第2節5「乳児家庭全戸訪問事業」については、課題があると思いますが、どのように考えていますか。

【事務局】乳児家庭全戸訪問事業については、感染対策を十分に取りながら、お互いの健康チェック、消毒やマスク着用のもと訪問するということを説明し、引き続き実施します。それでも対面を拒否される場合は、引き続き電話で困りごとや心配ごと、赤ちゃんやお母さんの様子を聞かせていただき、健診につないでいきたいと考えています。また、今後オンライン相談を検討して、事業化していく予定です。

【会長】コロナ禍で在宅が多くなり、保護者のストレスが溜まると、虐待などもあると思います。事が大きくなってしまってからでは遅いので、第6波に向けてどう対応していくか、具体的に検討していただければと思います。

何かご質問やご意見はありますか。

【委員】第2節3「放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）」は、実績が1,387人で、クラブ数が24か所ですが、1か所あたりの人数が非常に多く、一つのクラブに50～60人を詰め込んでいる状態です。コロナ禍でソーシャルディスタンスを保たなければいけないというのを、子どもたちは意識して基本的には校庭で遊んでいるのでいいのですが、雨の日のクラブ内は過密であり、このクラブ数ではコロナ禍でまかなえきれないと考えています。令和6年度の提供体制は、クラブ数25か所で、1か所しか増えてないので、もう少し増やしていただけないかなという希望があります。小学1～6年生までの必要量、見込み量がありますが、5、6年生になって、退所する児童は確かに増えます。これは、留守番ができるようになったからとか、塾に行くようになったから退室ということとは限らず、小学1、2年生を優先しなければいけないので、肩たたきが発生しています。必要じゃないから少なくなっているわけではなく、足りてないのです。

南畑放課後児童クラブは、過密な状況ですので、整備が始まる計画が見えて、とてもありがたいなと思いました。

【事務局】南畑放課後児童クラブの施設整備については、今年度の補正予算を要求しまして、今年度から測量と設計を進めていく予定です。また、他の過密な状態になっている児童クラブについても、認識しておりますが、新たな施設整備になりますと、時間をいただくことや、将来の小学生の児童推計を考慮しながら、対応していかないといけないため、引き続き検討していきたいと考えています。

現状、過密になっている児童クラブについては、特に雨の日は外遊びができないので、小学校にお願いをしまして、特別教室や体育館を児童クラブの児童の居場所としてお借りするかたちで、引き続き対応してまいりますので、ご理解いただければと思います。

【会長】昔と比べると、児童クラブの児童も増えていますが、施設も増やしています。ただし、コロナ禍で、感染が一番怖いわけですから、そういう中でどうしたらよいか、対応の仕方についていろいろな方法を検討していただければと思います。

### (3) その他

#### ①保育所等利用調整点数表の一部変更について

～事務局より説明～

【会長】修正点が6か所、それから追加が3か所、今までの中で削除されたのが3か所ということですが、この実施については、来年度募集からスタートするとのことですが、ご意見等はいかがでしょうか。

意見等はないということなので、次に進みます。

## ②南畑第2放課後児童クラブの施設整備について

～事務局より説明～

【会長】何かご意見等がありますか。

【委員】他の児童クラブの施設整備もよろしくお願いします。

【会長】整備場所が校舎と対角線上なのが気になりますが、敷地の問題もあり、なかなか思うようにいかないとは思いますが。

【委員】南畑放課後児童クラブの定員を教えてください。

【事務局】第2児童クラブにつきましては40名で、合計77名になります。

4 事務連絡

5 閉会 副会長